

議会報告「市民との意見交換会」

令和6年5月18日(土)、健康福祉会館において、35人の市民の皆さんに参加いただき、15名の議員との意見交換会を開催しました。

第1部では、令和6年3月定例会における審議内容を報告しました。その後の質疑応答では、庁舎増築、こども家庭センターの設置、高齢者福祉計画・介護保険計画に関する質問や意見がありました。

第2部では、①学校再編 ②新病院建設 ③議員定数の3つのテーマについて、6つのグループに分かれてグループワーク形式による意見交換を行いました。下記のような意見があり、参加者おのおのの思いを聞くことができました。

①学校再編

- 他の自治体も人口減少、少子化が大きな課題で学校再編を進めており、加西市ももっと早く検討し、実施すべきだったのでは。
- 市全体として公平性の観点から早く統合すべきで、将来を見据えた再編を進めてほしい。
- 統合中学校の建設地は池を埋め立てた場所となるが、問題はないのか。既存校へ集約してはどうか。
- 芝生のサッカー場や温水プールなど特色ある学校づくりをしてほしい。
- 通学バスを地域の路線バスや公共交通として活用できる体制とし、各地域でよく協議してほしい。
- 子供たちにとって望ましい教育環境となるよう、教育の中身を重視し、しっかり検討してほしい。
- 地域の要望を聴き、廃校の活用で地域の活性化に対応してほしい。

②新病院建設

- 病院を現状のまま使うことはできないのか。移転後の病院跡地はどうするのか。
- 総合病院として今の診療科の維持は可能なのか。医師を確保するには設備の充実も必要である。
- 1つの自治体で1つの病院を持つというのは苦しいので、統廃合も検討するべきではなかったのか。
- 市民全員の要望は産婦人科が欲しいということである。
- 医師の確保が重要で、特に高齢者が安心して診療を受けることができる病院をつくってほしい。
- 開かれた病院、コミュニティ重視の患者に寄り添う病院をつくってほしい。
- 病院は平地に建設されるが、交通網の確保をしっかりと考えていただきたい。

③議員定数

- 定数の増減議論より質の確保に尽きる。
- 加西市のことを真剣に考える人なら、定数は何人でもよい。
- 地域・市民の代表としてしっかり仕事をしていただく議員であれば現状維持でよい。
- 女性議員をもっと増やすべきである。
- 議員のやっていることが市民からはなかなか見えない。見える化をもっとしてもらわないと評価できない。
- 定数より浄化が大切。浄化すると透明性が出て素晴らしい議会になる。
- 男女比だけでなく、加西市にとって必要な方を議員として選ばなければならない



※ 議会報告「市民との意見交換会」の詳細については、右記QRコードからアクセスしてホームページをご覧ください。



これらのテーマ以外にも、参加者からは多くの意見がありました。

加西市議会として、今後もこのような市民との意見交換会を実施し、開かれた議会、広く市民の声を聴く議会、市民とともに市政について議論し意識を高め合う議会を目指していきたく考えています。